

R-style Titanium Hi Up Torque Rod



シート高は約10mm上がります。日本仕様のR1200RやR1200RSのシート高は、低すぎると言われる方がおられるのも確か。停車時の膝の曲がり軽減にもつながります。



チタンTP340を使用している為、柔軟性が非常に高く、路面追従性が向上!!

- ① ローダウトルクロッド
- ② 純正トルクロッド
- ③ ハイアップトルクロッド

車種別ラインナップ

- BMW R1200RS LC
- BMW R1200R LC

リアサスを制する者は、ハンドリングをも制す!!

開発のきっかけは、R-style代表の森下が、R1200RS LCを購入、ワインディングを走った時。RSという名前とは裏腹に、直進安定志向の強いハンドリングで、切り返しがワテンボ遅れる、と感じた時でした。

ワテンボ遅れるので、積極的にフロントサスに荷重を掛け、フォークを沈めてからコーナーに侵入する。当然、ブレーキングを遅らせた、緊張感の高いライディングになる。安定性を高めるはずの、安定志向の寝たキャスト角が、ワインディングでは逆に、緊張感を生んでしまっていました。

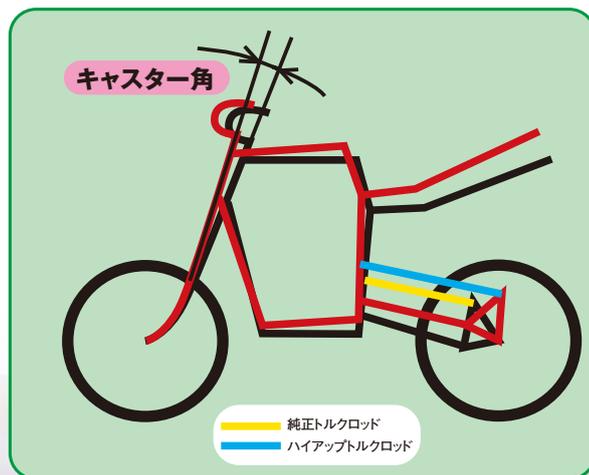
「なんとか、ワインディングでも楽しく走る事は出来ないか」そこで試行錯誤の末、森下が求めた答えは、リアサスにありました。

リアサスを上げれば、キャスト角が起き、ハンドリングが軽快になる事に気付いたのです。リアサスを上げる量は、試行錯誤の末15mmに決定。素材はローダウトルクロッドで実績のあった、TP340チタニウムを使用し、しなやかなリアサスペンションの動きを獲得。路面追従性には定評があります。これはモータージャーナリストの山田純氏や、和歌山利宏氏も絶賛。

山田純氏は自身のR1200GSで愛用、和歌山利宏氏には、このカタログの表紙を飾って頂いております。

R1200RS以外にも、水冷R1200シリーズであれば装着は可能。事実、森下はテレーム装備車のR1200RT LCに装着し、クイックなハンドリングを楽しんでおります。

また、RSではネックになっている、サイドスタンド使用時の立ち過ぎる車体傾斜角も、スタンド本体に手を加える事無く改善。立ちごけの軽減につながります。まさに、一石三鳥のスペシャルパーツなのです。



詳細はコチラをクリックし、ご希望の車種を選択してください